

2023年7月30日

第31回 HOTDOG 3時間耐久規定

★ サーキット内の車輛入場について

- ◎サポートカーは受理書に同封する車輛パスをフロントガラスへ必ず貼り付けること
- ◎**積載車は参加車輛を降ろした後、速やかにパーキング2へ駐車**の事
- ◎参加車輛は、速やかに指定ピットに駐車すること
- ◎サポートカーは各チーム1台とし、ピット向側のフェンス沿いへ駐車、その他は全てパドックBへ駐車すること

★ 参加確認・受付について

- ◎エントラントは、タイムスケジュールに指定された時間に、大会本部にて参加受付を済ませること。
- ◎計測器を受け取り、参加車輛に取り付けること。(レース終了後速やかに受付へ返却してください)

★ 車輛検査について

- ◎タイムスケジュールに指定された時間帯は、速やかに車検が行えるようドライバーは参加車輛付近にて下記の装備を持参し待機すること
 - ・耐火性のレーシングスーツ及びグローブ・ヘルメット(レーシングスーツは、綿100%のつなぎ服は認める)
 - ・燃料給油用携行缶(20ℓ以下)・消火器(1.5kg以上)・アース用ケーブル
 - ・エントリードライバー全員の運転免許証
- ◎車検に合格しないとテストラン及び決勝の走行はできません。

★ ピットロードの通過速度について

- ピットロードを走行する競技車両の制限速度は、40km/h以下とする。
- ※順守できないチームは、ペナルティストップを課します。

★ ドライバー順序について

- ◎ドライバー順序・ハンディストップのチェックは、受理書に同封するドライバーチェックシートに記入すること。
- ◎**停止時間、作業確認は必ず右隣のチームの承認を得る**ようにすること。

★ ドライバーズミーティング及び表彰式会場について

- 受理書にてお伝えします。

★ 耐久 特別救済ルール

競技中、万が一マシントラブル等で走行不可能になった場合、事前登録済の車輛のみ出走嘆願書にて大会本部に承認を得た場合に限り、スペアマシンで走行できるものとする。(ただし賞典外となる)

★ スタート方法について

変則ル・マン式とする。

- 1)走行準備を整えた第1ドライバーは、グリッド整列後シートベルトを確実に装着しエンジン停止で待機する。
(第2ドライバーに右側グローブを渡す！/バトン替わりです。)
- 2)第2ドライバーは走行時の服装・ヘルメット・グローブを着用しメインスタンド側に整列し、スタートの合図(スタートフラッグの振り下ろし)とともに、チーム車輛のドライバーに右グローブを手渡した後、速やかにコンクリートウォールを飛び越えピットレーン側へ退避すること。
- 3)第1ドライバーは手渡された右グローブを確実に装着後エンジンをスタートさせ、走行を開始すること。
- 4)グローブを確実に装着せずにスタートした場合、フライングスタート同様 5分間のペナルティストップを課す。
- 5)フライングスタート等スタート時の違反のチェックは、コントロールタワー及びサーキットスタッフが行う。
- 6)エンジンストール及び押しがけが必要な場合、他の全車輛がコントロールラインを通過した後にサポート要員3人までがコース内に入り押しがけること。
※ただし、コース中央へ出ないようにピットレーン側へ添って行うこと。
※6)の項目を順守しなかったチームにはペナルティ1分(ピットエンドストップ)を課します。
- 7)エンジンが始動不能の場合は、スタッフの指示に従い、速やかにピットへ戻ること。
※第2ドライバー以外は、最後尾車輛がコントロールラインを通過するまでは、ピットレーンにて待機のこと。

★ ドライバーの走行時間について

- ◎1走行あたり1人10分以上40分以下とする。
- ◎同一ドライバーがピットストップ後もドライブする場合、エンジンを停止させ一度降車し再び着座することを義務付ける。
- ◎**ドライバー交代時はエンジン**を停止すること。給油時も同様とする。

★ ピット作業について

- ◎燃料補給を行う際、ピットイン前に同ピット内の他チームへも給油する旨を伝えること。
- ◎燃料補給を行う場合は、ピット内で**3分以上停止**しなければならない。燃料補給中は、**ドライバー交代以外の作業等は一切禁止**。(給油中はタイヤ交換等の準備も禁止です)(必ずエンジン停止のこと)
- ◎燃料補給中は、最低1名のピット要員を消火要員として消火器(1.5kg以上)をもって速やかに消火できる体勢で車輛の傍に待機しなければならない。またその際は必ずボディーアースを実施すること。
(ブースターケーブル等を持参し、ピット備え付けのアース・フェンス等～バンパー・マフラー等をつなぐ)
- ◎燃料補給時は、全要員が耐火マスクまたはヘルメット・グローブ・耐火服または綿100%つなぎ服を着用すること。
- ◎ピットレーン内の要員は、燃料補給の場合、交代ドライバーを含め5人までとする。(燃料補給を行わない場合は4人以内とする。)
- ◎燃料補給は、JAF規定に合致した金属携行缶またはガソリン専用金属携行缶(ホース付)を使用のこと
電動式・圧送式またはそれに準ずる給油装置は禁止 ※給油携行缶でご不明な点は、事務局までご連絡下さい。
(一回の給油・ピットでの燃料保管とも、20ℓまでとする)
- ◎ピットエリアでのピット作業は、登録されたピットクルーによってのみ作業することが許される。
- ◎ピット内での喫煙、火気の使用、高温を発生する機材の使用は禁止する。
※火災事故防止に特に注意して下さい。給油時の静電気による出火防止は確実に！
ボディーアースをとったり綿100%つなぎ服着用はその為です。
- ◎火災発生時、速やかな消火作業を行う為に、サーキット側の判断においてサーキット備付けの消火器を使用する場合があります。尚、使用した消火器代は火災発生チームへ実費請求になる事をご了承下さい。

★ ピットレーンよりコース進入について(コースイン)

- ◎ピットエンドのオフィシャルの指示、または信号機に従うこと。
- ◎コース進入時の第1コーナーはイン側ベタを走行すること。
- ◎ホワイトラインカットは、**30秒のパナルティストップ**を課す。

★ コースよりピットレーン進入について(コースアウト)

- ◎ピットレーンへは、右シグナルを点灯させ、必ずピットレーンエンドより進入すること。
- ◎その際、イエローラインをカットし進入した車輛は30秒のパナルティストップを課す。
- ◎コース上のラインカットは、パナルティストップの対象となる。


★ 各クラスのハンディタイムについて

※各クラス 義務ピット回数 及びピットストップ時間(ハンディタイム)については、**エントリー締め切り後決定したものを受理書に同封するものとする。**

- ◎ハンディタイムの計測は、エンジン停止後より計測が開始される。
- ◎計測は右隣1コーナー側のチームが行う。(各チーム計測用にストップウォッチを用意しておくこと)
- ◎ハンディタイム内では作業を行ってもよいが、他の車輛の安全を確保して行うこと。
- ◎ハンディタイム内で給油をする場合、最低3分間は給油時間とし、それ以外の作業及び準備を行っては行けないが、給油が終了し、3分経過後は他の作業を行ってもよい。

★ 競技中の注意事項

- ◎フルコースコーション(セーフティカーコースイン)
ピットインしても良い。(義務ピットにカウントOK)
ただし再度コースインする場合、ピットエンドにて一旦停止、オフィシャルの指示に従う事。

 **グリーンフラッグで解除になった場合は、コントロールライン通過後より追い抜きを開始すること。**

- ◎競技中のパナルティは違反内容により、ピットエンドストップを課します。その際、ピットインは禁止。
違反のあったチームには、スタッフより違反内容・ストップ時間を書いた用紙を渡します。
サインボードでピットインをドライバーへ伝えて下さい。
ドライバーは用紙を受け取り、ピットエンド停止時に スタッフへ提出。その時点より計測を開始します。

★ 当日、悪天候などによりライトオンの指示が出る場合がありますので、車輛の準備をお願いします。 (ヘッドライトの飛散防止テープは、点灯が確認できるように、全面にはりつけないこと)